

TICKET

ブリッジパス / BRIDGE PASS | ¥700

現代美術展やプログラムに参加するための共通のパスです。
会期中、総合案内 [MAP①] とイベント会場でご購入いただけます。

- ・名古屋港ポートビル展望室入場券が含まれます。
- ・ご本人に限り会期中何度でも利用可能です。(※名古屋港ポートビル展望室は1回のみ)
- ・中学生以下は無料です。(※名古屋港ポートビル展望室は除く)
- ・障害者手帳をお持ちの方および付き添いの方2名までは100円割引になります。
ブリッジパスをご購入の際、手帳をご提示ください。

以下のチケットをご提示の方は100円引きいたします。購入の際ご提示ください。
対象 | ・「あいちトリエンナーレ2019」国際現代美術展1DAYパスおよびフリーパス
・名古屋交通局のドニチエコきっぷ、一日乗車券(ご利用開始後、有効期限内のチケットに限る)

BRIDGE PASS can be purchased at the Minatomachi POTLUCK BUILDING,
General Information of Assembridge NAGOYA 2019 [MAP①], and event venue.


- ・An admission fee of NAGOYA PORT BUILDING Observation Room is included in the BRIDGE PASS fee.
- ・The Exhibition Passport is valid during the Assembridge Nagoya 2019 period.
- ・The passport is strictly non transferable, and includes a single admission to the NAGOYA PORT BUILDING Observation Room.
- ・Junior High School students or younger are admitted free except for NAGOYA PORT BUILDING Observation Room.
- ・Holders of Disability Certificates (Physical Disability Certificates, Rehabilitation Certificates, or Mental Disability Certificates) and 2 attendants can purchase discount ticket. Please show us your Disability Certificates when you purchase BRIDGE PASS.

Present the following tickets in order to receive ¥100 discount.
・One-day Pass or Passport of AICHI TRIENNALE 2019
・Nagoya City Bus & Subway 1 day ticket or Weekend eco ticket (It is within the expiration period.)

チケット / TICKET (サポーター席含む)

●名古屋市文化振興事業団チケットガイド Nagoya City Cultural Promotion Agency Ticket Guide

ご予約は、公演3日前まで可能。
Ticket available until 3 days before the performance.
TEL | 052-249-9387 (ナディアパーク8F) 営業時間 | 平日 9:00-17:00
そのほか、事業団が管理する21の文化施設窓口(土曜、日曜、祝日も営業)でもお求めいただけます。
*工事休館などがありますので、事業団ウェブサイトでご確認ください。

●WEB | PassMarket (Yahoo! JAPAN デジタルチケット) 
ご予約は、公演前日の24:00まで可能。
Ticket available until midnight the day before the performance.
<http://ur0.work/VABE> PassMarket

●アッセンブリッジ・ナゴヤ総合案内(港まちポットラックビル) General Information (Minatomachi POTLUCK BUILDING)

ご予約は、公演前日まで可能。
Ticket available until the day before the performance.
受付時間 | 11:00-19:00 (会期中の木曜-日曜、祝日)
Opening hours | 11:00-19:00 (Thursday to Sunday and Holiday)

- [注意事項]
- ・各会場駐車場の用意はございません。公共交通機関をご利用ください。
 - ・定員に達した場合、立ち見もしくは入場を制限させていただきます場合がございます。
 - ・公演内容や曲目、出演者は予告なく変更となる場合がございます。
 - ・天候、災害、その他アーティストの都合など、やむを得ない事情により公演が変更・中止となる場合がございます。
 - ・お客様の都合による、払い戻し、再発行には応じかねます。
 - ・当日券販売の有無は公演当日、ウェブサイトまたはお電話にてお問合せください。
 - ・当日会場にて介助を必要とされる方やご不安な点のある方は事前に事務局までお問合せください。

- [Important]
- ・There is no parking lot around each venue, please use public transport.
 - ・Visitors may be refused entry or standing when the seats are full.
 - ・Program, performer and artist may change without prior notice.
 - ・Some works may be closed due to weather, natural disaster, and unavoidable circumstances.
 - ・Ticket and BRIDGE PASS is non-refundable and cannot be reissued.
 - ・Please check our website or contact us for sales of day ticket.
 - ・Due to characteristics of facility, some places are not accessible for visitors with disabilities and special needs. If you need assistance, please contact the staffs directly or executive committee in advance.

●お問合せ アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会事務局

〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-18 3F
TEL/FAX | 052-652-2511
電話受付時間 | 月曜-水曜(9:00-17:00)、木曜-日曜・祝日(11:00-19:00)
contact@assembridge.nagoya

Contact | Secretariat
TEL +81-52-652-2511 contact@assembridge.nagoya

www.assembridge.nagoya

●主催
アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会
構成団体 | 名古屋市、港まちづくり協議会、名古屋港管理組合、
公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団、公益財団法人名古屋市文化振興事業団

●協賛



●後援
公益財団法人名古屋みなと振興財団 ●協力


●企画体制
アートプログラムディレクター | 服部浩之、青田真也、吉田有里
音楽プログラムディレクター | 岩田彩子
コーディネーター | 谷口裕子
アーキテクト | 米澤 隆
デザインディレクション、デザイン | 中西要介 (STUDIO PT.)、溝田尚子
デザイン | 中澤耕平 (STUDIO PT.)、根津小春 (STUDIO PT.)
ウェブデザイン | 石垣嘉洋
広報 | 大泉愛子



情の時代
あいち
トリエンナーレ
2019
連携企画事業

音楽とアートで出会う、みなとまち
Find the Port Town through Music and Art

アッセンブリッジ・ナゴヤ 2019 2019.9.7 Sat. - 11.10 Sun.

会期中の木曜、金曜、土曜、日曜、祝日開催
Open Thursday to Sunday and Holiday

会場 | 名古屋港～築地口エリア一帯
Venues | Around the Nagoya Subway NAGOYAKO (Port of Nagoya)
Station to TSUKIJIGUCHI Station area

MUSIC / ART / MINATOMACHI



今年も港まちを舞台に、
音楽とアートがあふれます。



アッセンブリッジ・ナゴヤ 2019 ASSEMBRIDGE NAGOYA 2019

アッセンブリッジ・ナゴヤは、名古屋の港まちを舞台に
2016年よりスタートした、音楽と現代美術のフェスティバルです。
音楽やアートが架け橋となり、まちと人が出会い、つながりが生まれ、
新たな文化が育まれていくことを目指しています。
コンサートホールや美術館ではなく、いつものまちが会場となり、
名古屋の港まちの日常に音楽やアートが溶け込み、
創造性溢れる場所から風景が動き出していきます。

Assemblebridge NAGOYA is a festival set in the Nagoya Port area (Minatomachi),
showcasing music and contemporary art since 2016.
The term encompasses our aim for music and art to bridge people and the town,
create connections and eventually nurture a new culture.
The stage is not concert halls or museums but the town itself.
Music and art blend into the everyday life of the Nagoya Port area,
and the creative spaces transform the surrounding landscape.

*[アッセンブリッジ assemblebridge]とは、
「集める」「組み立てる」などの意味をもつ[アッセンブル assemble]と、
[ブリッジ bridge]を組み合わせた造語です。

*"Assemblebridge" is a coined term, combining "assemble" - to gather, to build - and "bridge".



音に会いに行こう。 みなとまちで生まれ、育まれる音たち。

Let's go meet the sound. The sound, born and raised in the Nagoya Port area.

音楽部門では、従来型のコンサートだけでなく、演奏家と観客との距離がより近いコンサート、普段公演が行われることのない場所でのコンサートなど、まちなかだからこそできる活動を展開してきました。音楽、そして演奏家との出会いが、その場に居合わせた方に何かを残せるような仕組みを少しずつ築いてきました。

今年は参加者が音楽とのより深いつながりを持てるよう、演奏を聴くだけでなく、自ら楽器を演奏し体感する参加型プログラムを実施します。

また「レジデンス・アンサンブル プロジェクト」では、音楽に魅了された若手の演奏家たちが、昨年度に引き続き、港まちに滞在します。彼らはまちのなかで人びとと直接的に関わり合い、演奏家としてのあり方を模索しながら、音楽に向き合い発信し、世界的な音楽家や現役で活躍する演奏家との共演も行います。彼らが演奏家としてまちや人びとに育てられて成長していく姿を、彼らの演奏を楽しみながら一緒に応援していただければ幸いです。

The music division has always been conducting not only conventional concerts but also activities unique to this festival taking place in this area, such as concerts that create intimate distance between performers and audience, or ones held in venues where live music had never been played before. Little by little, we have gradually built the structure where the encounters with music and performers would leave something special to those who happened to be there.

This year, we will organize a participative program where the audience would not only listen to music but also play instruments and experience it, which will hopefully create an even more intimate relationship between the participants and the music.

Furthermore, the Residency Ensemble Project will take place this year again, and musicians from the younger generation allured with music will be staying in the Nagoya Port area. They will directly interact with the people in the area, and seek their own ways as musicians and deliver their music through collaborations with internationally renowned and currently active musicians. We hope the audience will enjoy their performances and also warmly support the young musicians growing together with the town and people of the Nagoya Port area.

企画 | 岩田彩子 Planning | Ayako Iwata

*全席自由。受付開始、客席開場は開演の30分前からです。

*1 飲食物のご提供は原則、開演前または終演後に行います。こちらの公演にはブリッジバスが付きまます。(*名古屋港ポートビル展望室入場券は除く)
楽器等略記号 | ヴァイオリン(Vn)、ヴィオラ(Va)、チェロ(Vc)、コントラバス(Cb)、フルート(Fl)、オーボエ(OB)、クラリネット(Cl)、ファゴット(Fg)、ホルン(Hr)、パーカッション(Perc)、ビブラフォン(Vib)、ピアノ(Pf)、キーボード(Key)、ソプラノ(Sop)、テノール(Ten)、バリトン(Bar)、ヴォーカル(Vo)



PROGRAM 会期中プログラム

*プログラムの詳細やその他のイベントは、ウェブサイトなどでお知らせします。

名港海運株式会社 presents

わたしの好きなうた ミュージカルステージ

無料

My Favorite Songs
The Stage of Musicals

あなたを夢の世界へと誘う、ミュージカルの名曲アラカルト。

9.21 (土) 14:00-15:00

会場 | ポートハウス [MAP⑩]

出演 | 奥村育子 (Sop)、吉田ひろき (Bar)、
弦楽四重奏リリカ [鈴木理恵 (Vn)、
村越久美子 (Vn)、太田裕佳 (Va)、水谷幸絵 (Vc)]
曲目 | A.L.ウェバー:《オペラ座の怪人》より

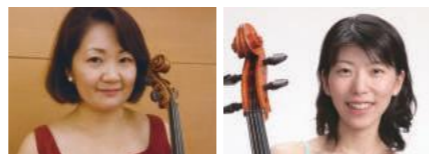
Think of me
A.メンケン:《美女と野獣》より ひそかな夢 ほか
企画 | 公益財団法人名古屋市文化振興事業団



奥村育子 吉田ひろき



鈴木理恵 村越久美子



太田裕佳 水谷幸絵

名古屋フィルハーモニー 交響楽団メンバーによる 木管五重奏コンサート

無料

Woodwind Quintet
from Nagoya Philharmonic Orchestra

ヨーロッパのさまざまな伝統音楽を、繊細に編み出される木管五重奏の響きでお届けします。

9.22 (日) 13:00-14:00

会場 | 名古屋港ポートビル [MAP⑩]

出演 | クインテット・アヴァロン
[橋本岳人 (Fl)、寺島陽介 (Ob)、
ロバート・ボルショス (Cl)、
ゲオルギ・シャシコフ (Fg)、安土真弓 (Hr)]

曲目 | G.ロッシニ: 歌劇《セビリアの理髪師》より 序曲
G.ビゼー: カルメン組曲 ほか



クインテット・アヴァロン

名古屋埠頭株式会社 presents

KASH コンサート

要予約

KASH Concert

オリジナル曲により引き出された色彩豊かなサウンドを、名古屋港を一望できるレストランで。

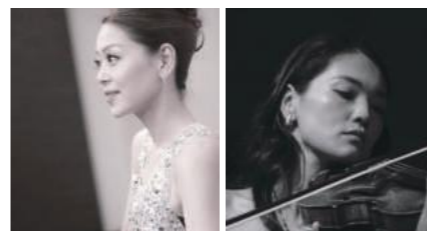
9.22 (日) 15:30-16:30

会場 | 東山ガーデン ポートビル店 [MAP⑩]

出演 | KASH [西脇佐和子 (Key)、林 こずえ (Vn)]
チケット料金 | ¥1,000 (ワンドリンク付)*1

曲目 | KASH: EVER FLOW

KASH: 鬼灯
KASH: hanabi ほか



西脇佐和子 林 こずえ

伊勢湾海運株式会社 presents

わたしの好きなうた 日本のうたステージ

無料

My Favorite Songs
The Stage of Japanese Oldies

美しい情景が広がる、日本の名曲をお届けします。

10.6 (日) 14:00-15:00

会場 | ポートハウス [MAP⑩]

出演 | 酒井和音 (Sop)、井原義則 (Ten)、
山田弦楽四重奏団 [山田貴子 (Vn)、
和田有里奈 (Vn)、西尾結花 (Va)、紫竹友梨 (Vc)]

曲目 | 小林秀雄: 落葉松
山田耕筰: この道
中田喜直: ちいさい秋みつけた ほか

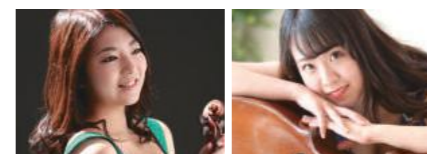
企画 | 公益財団法人名古屋市文化振興事業団



酒井和音 井原義則



山田貴子 和田有里奈



西尾結花 紫竹友梨

弦楽トリオ コンサート

要予約

String Trio Concert

洗練された弦楽三重奏の調べをおいしいワインとともに。名曲と過ごす贅沢な時間。

10.12 (土) 17:00-18:00

会場 | うどんDINING釜半 [MAP⑩]

出演 | 安田祥子 (Vn)、景山 奏 (Va)、荒井 結 (Vc)
チケット料金 | ¥1,500 (グラスワイン付)*1

曲目 | F.クライスラー: 愛の喜び、愛の悲しみ

C.ドビュッシー: 月の光
E.ドホナーニ: 弦楽三重奏のための
セレナーデ 作品10 八長調 ほか



安田祥子 景山 奏



荒井 結

mocha mari ライブ

要予約

mocha mari Live

コーヒーの香りとジャズが溶け合う、深くほろ苦いひととき。

10.13 (日) 16:30-17:30

会場 | 珈琲物語 [MAP⑩]

出演 | mocha mari [tomoka (Vo)、山下真理 (Vib)]
チケット料金 | ¥1,500 (ワンドリンク・ブチスイーツ付)*1

曲目 | C.チャップリン: スマイル
R.ロジャース: 私のお気に入り
レノン=マッカートニー: レット・イット・ビー ほか



tomoka 山下真理

株式会社フジトランスコーポレーション presents

わたしの好きなうた オペラステージ

無料

My Favorite Songs
The Stage of Operas

心をゆさぶる、華麗なオペラの名曲をお楽しみください。

10.14 (月・祝) 14:00-15:00

会場 | ポートハウス [MAP⑩]

出演 | 趙 知奈 (Sop)、遠山貴之 (Ten)、

CoolMensLa [平光真彌 (Vn)、新谷 歌 (Va)、
酒井敬彰 (Cb)、五島史誉 (Key)]

曲目 | E.カールマン: 喜歌劇《シャルダッシュの女王》より
踊りたい
J.シュトラウスII世: 喜歌劇《こうもり》より
時計の二重唱 ほか

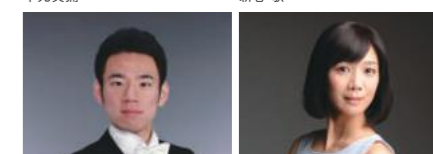
企画 | 公益財団法人名古屋市文化振興事業団



趙 知奈 遠山貴之



平光真彌 新谷 歌



酒井敬彰 五島史誉

親子で楽しむコンサート

無料

Concert for kids

0歳から体験できる演奏会。時代を越えて愛されてきた曲をポップでコミカルなサウンドでお送りします。

10.15(火)15:30-16:15

会場 | 慶和幼稚園 [MAP②]
 出演 | クビバトリオ [岡林和歌 (Cl)、白神由美子 (Pf)、ギョルギエウ美郷 (Perc)]
 曲目 | M.バガーノ: 黒猫のタンゴ
 J.ペロニー: コーヒーランバ
 ポーランド民謡: クラリネットポルカ ほか



クビバトリオ

レジデンス・アンサンブルプロジェクト

無料

Residency Ensemble Project

公募により選ばれた弦楽四重奏団が10日間港まちに滞在し、まちに音楽を届けます。

10.19(土)12:45-13:30

トウルバン教授による公開レッスン

10.20(日)14:30-15:10

ジェム カルテット コンサート

*10.20(日)は「港で音楽の1日」の中で実施します。

会場 | 名古屋港ポートビル [MAP⑭]

出演 | ジェム カルテット [松浦絵里奈 (Vn)、中村真帆 (Vn)、白井英峻 (Va)、向井真帆 (Vc)]
 曲目 | M.ラヴェル: 弦楽四重奏曲 へ長調 ほか

●アウトリーチ公演

10.12(土)11:00-11:30

会場 | 名古屋港湾会館2Fロビー (港区港町1-11) ほか

*このほか滞在中に公開練習を予定 (観覧自由)。詳細はウェブサイトなどでお知らせします。



松浦絵里奈

中村真帆



白井英峻

向井真帆

みなとストリングスプロジェクト

無料

Minato Strings Project

公募メンバーで結成された弦楽合奏団。初心者からアマチュア奏者までが集い、港まちで練習し本番を目指します。音楽を通して人やまちとの繋がりを生み出すプロジェクト。

10.19(土)13:45-14:10

みなとストリングスコンサート

10.20(土)

11:45-12:45

みなとストリングス 公開リハーサル

13:30-14:00

みなとストリングス コンサート

*10.20(日)は「港で音楽の1日」の中で実施します。

会場 | 名古屋港ポートビル [MAP⑭]

出演 | みなとストリングス
 講師 | 春日井久美子 (Vn)、安田祥子 (Vn)、景山 奏 (Va)、荒井 結 (Vc)



みなとストリングス練習風景

港で音楽の1日

無料

A day of music in Minatomachi

世界で活躍するトウルバン教授から初めて楽器を演奏する方までが同じ舞台上に立ち、多彩な音楽を届ける1日。

10.20(日)

10:30-11:30

トウルバン教授と講師陣による公開リハーサル

11:45-12:45

みなとストリングス 公開リハーサル

13:30-14:00

みなとストリングス コンサート

14:30-15:10

レジデンス・アンサンブル
 ジェム カルテット コンサート

15:30-16:15

トウルバン教授と講師陣による
 ジョイントコンサート

会場 | 名古屋港ポートビル [MAP⑭]

出演 | インゴルフ・トウルバン (Vn)、春日井久美子 (Vn)、安田祥子 (Vn)、景山 奏 (Va)、荒井 結 (Vc)、みなとストリングス (弦楽合奏団)
 曲目 | G.タルティーニ: ヴァイオリン・ソナタ「悪魔のトリル」
 P.サラサーテ: カルメン幻想曲作品25
 R.ロジャース: エーデルワイス ほか



インゴルフ・トウルバン ©Juergen Christ



春日井久美子

安田祥子



景山 奏

荒井 結

フルート四重奏 × 水族館コンサート

要水族館入館券

Flute Quartet Concert at the Aquarium

優美なフルートカルテットと魚たちの遊泳の共演が楽しめる、アッセンブリッジ・ナゴヤならではのステージ。

11.2(土)11:45-12:05、14:00-14:20

会場 | 名古屋港水族館 [MAP⑯]

出演 | 赤澤早苗 (Fl)、上原由李 (Fl)、大久保成美 (Fl)、山村雅美 (Fl)

曲目 | 伊藤康英: フルーツ・パフェより4本のフルートのための組曲
 A.メンケン: リトルマーメイドよりパートオブユアワールド
 いずみたく: 見上げてごらん、夜の星を ほか



赤澤早苗

上原由李



大久保成美

山村雅美

みなとアクルスマちづくり推進協議会 presents

みなとアクルスLIVE

-アンサンブルと楽器体験-

Nagoya Academic Winds Concert and Lesson

吹奏楽のアンサンブルコンサートと、プロの指導のもと気軽に楽器に触れて演奏できる体験会を開催します。

11.4(月・祝)

13:00-13:30 コンサート

14:00-15:00 楽器体験会

会場 | ららぽーと名古屋みなとアクルス3Fららスタジオ [MAP⑱]

出演 | 名古屋アカデミックウインズメンバーによるアンサンブル



名古屋アカデミックウインズ

●RELATED PROJECT

みなとまちリサーチプロジェクト お寺 de 羅生門

無料

Minatomachi Research Project
 "Rashomon" at Shinkouji Temple

2017年より始まった名古屋芸術大学アートマネジメントコースの学生企画。『羅生門』(芥川龍之介作)の朗読劇(音楽付き)と音楽会。『羅生門』を音楽や朗読からアプローチし、お寺の中で鑑賞することにより、「いつもの場所」の新たな魅力を発見します。

11.1(金)18:30-20:00

会場 | 信興寺 [MAP⑳]
 出演 | 中村由加里 (Cl)、野口桃江 (Key)、岡本理沙 (朗読) ダンス | 未定
 監修 | 浅井信好
 曲目 | G.タイユフェール: アラベスク ほか
 企画制作 | 名古屋芸術大学アートマネジメントコース



中村由加里

野口桃江



岡本理沙

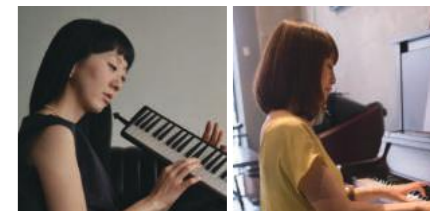
浅井信好

“みなとまちのうた” 制作プロジェクト

“Song for Minatomachi” Project

港まちづくり協議会との連携企画。mica+hachiとともに港まちをリサーチし、このまちの歴史や文化、まちの方からのエピソードを基に「みなとまちのうた」を制作します。2019-20年にかけてワークショップやコンサートを実施していきます。

制作 | mica+hachi (坂東美佳、長谷川久美子)



坂東美佳

長谷川久美子

小西・中村特許事務所 presents

ポットラックビル コンサート

無料

POTLUCK BUILDING Concert

アッセンブリッジ・ナゴヤの拠点、ポットラックビルで行うコンサート。演奏を間近でお楽しみください。

会場 | 港まちポットラックビル [MAP①]

……

10.22(火・祝)11:30-12:00、13:00-13:30

出演 | 赤崎真由美 (Vo)、杉丸太一 (Pf)、俵山昌之 (Cb)

曲目 | 俵山昌之: The Peace Song ほか



赤崎真由美

杉丸太一



俵山昌之

……

11.2(土)11:30-12:00、13:00-13:30

出演 | 春日井久美子 (Vn)、杉山亜由美 (Pf)

曲目 | R.ワーグナー: アルバム・リーフ (ロマンス)

E.エルガー: 朝の歌

F.クライスラー: ベートーヴェンの主題による
 ロンディーノ ほか



春日井久美子

杉山亜由美

現代美術展

「パノラマ庭園 —移ろう地図、侵食する風景—」

EXHIBITION "PANORAMA GARDEN - Changing Map, Melting Landscape -"

アート部門では2016年より続くタイトル「パノラマ庭園」のもと、2018年から「移ろう地図、侵食する風景」をテーマにした2年に渡るプロジェクトを展開し、今年も名古屋港エリアに点在する複数の会場をつなぐ展覧会を開催します。

アッセンブリッジ・ナゴヤがスタートしてからの4年間でも、港まちの風景は絶えず動き続けています。新たな建設が進行する一方で、数多くの商店が閉店し建物が取り壊され、空き家や空き地も増えています。2018年には、これまでまちの社交場として開いてきた「UCO」が並ぶ一帯の長屋も解体され、駐車場になりました。このできごとを受け、アーティストユニット・L PACK.を中心に、新たな社交場「NUCO」を近隣に立ち上げました。

このようなまちの変化を受け止め、観察を続けるとともに、このエリアを起点としたアーティストの滞在や調査、パフォーマンス、コレクティブワークなど、制作活動の総体を「プロジェクト」と定義し、ここから生まれる新たな表現のかたちを模索します。

今回発表するものが必ずしも作品という最終形態だけではなく、これからも継続して展開されるプロジェクトもあるでしょう。また、それぞれのプロジェクトが今後どのようなかたちに変化し、まちや人びとにどのような影響を与えるか、まだ定かではありません。アーティストは変化の連続をいかに掴み、プロジェクトを通じてどのようなアクションを起こすのでしょうか。

「地図」は現在地を示す記号の集合であり、土地の移り変わりを記憶し、記録するものでもあります。プロジェクトの集合体となる展覧会を通じて、港まちから多彩な表現を発信し、「現在」と過去や未来を接続することで、人びとの思考を広げるプラットフォームとなることを目指します。

As part of the project PANORAMA GARDEN which started in 2016, the art division has been conducting a two-year program since 2018 under the subtitle Changing Map, Melting Landscape. This year, we will organize an exhibition connecting the several venues scattering in the Nagoya Port area again.

The landscape of the Nagoya Port area has been restlessly altering itself since Assemblebridge NAGOYA started four years ago. While there have been new sites that have been freshly built, there also have been many stores that have closed down and been demolished, resulting in accelerating numbers of vacant houses and sites. In 2018, the nagaya (Japanese traditional houses connected under a single ridge) where the social interaction hub "UCO" was nested, the entire area became demolished and had turned into a parking lot. As a reaction to this incident, a new hub called "NUCO" was launched at a place close by by members who sympathized with the artist unit L PACK. who took the initiative in this movement.

While we accept all these new changes and continue to observe the things happening in the area, we also seek new forms of expression developed throughout research, performances, collective works and all other creative works conducted by artists in the area, and define all these as one overall "project".

Some of the presentations shown in this festival may not be finished works, but instead projects that would continue to evolve. We are unsure how each project will alter their forms and influence the area and its people. We look forward to seeing how the artists would comprehend the continuous changes that is happening and would make actions through their projects.

A "map" is a collective of symbols that indicate our current location, and also something that memorizes and transcribes the changes that have happened at a location. Through the exhibition consisted as a collective of projects and by presenting multifarious expressions from the Nagoya Port area, we aim to connect the "present" with the past and the future, and hopefully become a platform to expand the ways of thinking of everyone.

企画 | 服部浩之、青田真也、吉田有里 Planning | Hiroyuki Hattori, Shinya Aota, Yuri Yoshida

2019.9.7(土) - 11.10(日) 11:00 - 19:00

*名古屋港ポートビル展望室は9:30 - 17:00 *NAGOYA PORT BUILDING Observation Room 9:30 - 17:00
入館は閉館30分前まで Last admission is 30 minutes before closing.

会期中の木曜、金曜、土曜、日曜、祝日開場 Open Thursday to Sunday and Holiday

休場日 | 月曜、火曜、水曜 Closed Monday to Wednesday

会場 | 港まちポットラックビル [アッセンブリッジ・ナゴヤ総合案内]、旧・岡田ガラス店、スーパーギャラリー、内藤ガレージ、NUCO、第3佐野コーポ1F、旧・名古屋税関港察、名古屋港ポートビル展望室

Venues | Minatomachi POTLUCK BUILDING[General Information], Former Okada Glass Shop, Super Gallery, Naito Garage, NUCO, On the first floor of Sano Building Part3, Former Minato Dormitory of Nagoya Custom, NAGOYA PORT BUILDING Observation Room

美術展の鑑賞にはブリッジパスが必要になります。(ブリッジパスについては冊子裏面をご確認ください。)

The BRIDGE PASS is required to see the art exhibition. (Please refer to the back of this booklet for the information about the BRIDGE PASS.)

要
ブリッジ
パス

アート会場
MAP
→P.09

ARTIST

青崎伸孝 Nobutaka Aozaki

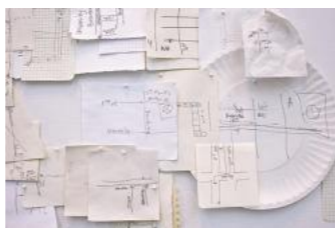
碓井ゆい Yui Usui

L PACK. エルパック

折元立身 Tatsumi Orimoto

千葉正也 Masaya Chiba

山本高之 Takayuki Yamamoto



上から、青崎伸孝《From Here To There》(部分) 2012、碓井ゆい《our crazy red dots》2017 Collection of The Dai-ichi Life Insurance 撮影 | 富田7平、L PACK.《UCO》2016-18、折元立身《500人のおばあさんの昼食》2014、千葉正也《平和な村》2015、山本高之《Lie to Me》2017 撮影 | 富田7平

PROGRAM 会期中プログラム

*プログラムの詳細やその他のイベントは、ウェブサイトなどでお知らせします。

PROJECT

L PACK. 《NUCO》

約20年間、空き家になっていた旧・潮寿司。「空き家再生スクール」を経て、2016年より《UCO》として息を吹き返した空間は、人びとが集う「社交場」として開かれていました。2018年にUCOは惜しくも取り壊しとなりましたが、これまでの活動やコミュニティを継続するべく、その機能を移転し、新たな空き家を再生して、《NUCO》としてスタートしています。美術展開場日はカフェ営業を行っています。



《NUCO》2019-

9.7(土) - 11.10(日) 11:00 - 19:00

木曜、金曜、土曜、日曜、祝日 OPEN

(アッセンブリッジ・ナゴヤ2019期間中)

*イベントによって開場時間が異なる場合があります

会場 | NUCO [MAP⑥]

TALK

地域美学スタディ

Regional Aesthetics Studies

要
ブリッジ
パス

本展を読み解くためのトークシリーズ。「地域」がフォーカスされる今、改めて有効な社会とアートのあり方を模索します。今回は、ジル・クレマン著『動いている庭』の翻訳をつとめた山内朋樹をゲストに迎えて、都市の片隅に息づく生態系と移りゆく現代の庭について検証します。



vol.10 「動いている庭から亜生態系へ：生態系から都市を考える」

10.11(金) 19:00 - 20:30

会場 | 港まちポットラックビル1F [MAP①]

ゲスト | 山内朋樹(京都教育大学教員/美学・庭園史研究・庭師)

定員 | 30名(予約不要)

参加 | ブリッジパスが必要になります

山内朋樹 Tomoki Yamauchi

京都教育大学教員。専門は美学、庭園史。1978年兵庫県生まれ。フランスの庭師ジル・クレマンの研究を軸に、都市の片隅に息づく生態系に現代の庭の可能性を探っている。現在は庭の石組を観察者の身体と相関的な動的構造として分析するプロジェクトを進行中。また在学中に庭師をはじめ、研究の傍ら独立。京都を中心に関西圏で庭をつくるほか、庭に焦点をあてた作品の制作やフィールドワークなども行っている。論考に「なぜ、なにもないのではなく、バンジーがあるのか——浪江町における復興の一断面」(『アーグメント』#3、2018年)、訳書にジル・クレマン『動いている庭』(みすず書房、2015年)。

折元立身 おばあさんのランチ in 港まち

要
ブリッジ
パス

Grandmothers Lunch in the Port Town
by Tatsumi Orimoto

折元立身がこれまで世界各地で行ってきた「おばあさんのランチ」は、さまざまな時代を生き抜いてきた女性たちに敬愛と労いの意を込めて食事を振る舞うパフォーマンスプロジェクトです。戦後の復興や伊勢湾台風を乗り越えてきた港まちの女性たちを特別なランチへ招待します。



リサーチの様子

9.7(土) 14:00 - 15:30

会場 | 港まちポットラックビル1F [MAP①]

定員 | 30名(予約不要)

参加 | ブリッジパスが必要になります

碓井ゆい アーティストトーク

Artist Talk by Yui Usui

要
ブリッジ
パス

1972年の港保育園「自主管理保育闘争」をきっかけにした新作を制作した碓井ゆいと、保育者として保育問題に取り組んできた羽根由美子とともに、保育と社会問題、それを表現することについて考えます。



港まち手芸部との共同制作の様子

9.8(日) 14:00 - 15:30

会場 | 港まちポットラックビル1F [MAP①]

ゲスト | 羽根由美子(保育者/名古屋市立大学研究員)

定員 | 30名(予約不要)

参加 | ブリッジパスが必要になります

羽根由美子 Yumiko Hane

保育者/名古屋市立大学人間文化研究科研究員
1969年から40年間、名古屋市立の保育園で保育士、園長をつとめる。退職後、保育士としての現場経験を活かし、愛知淑徳大学福祉貢献学部子ども福祉専攻で准教授として後進の育成に尽力。2016年より現職。子ども育て支援新制度による地域の変化、保育の歴史、保育の質研究を研究テーマとしている。執筆や講演の活動も行い、保育関係団体の役員をはじめ社会貢献活動にも取り組むなど、よりよい保育と社会のあり方を追究している。

EVENT

L PACK. Cocktail Club Cola de gallo

カクテルクラブ コーラ・デ・ガジョ

さまざまな活動がミックスされる場所《NUCO》で、新たにカクテルクラブがスタート。「Cola de gallo」はカクテルの語源の一つ、船員と少年の勘違いから生まれた言葉です。港まちで美味しいカクテルが飲める名店「猫と窓ガラス」の店主・廣田隆詳とともに、何かと何かを混ぜ合わせるカクテルを作ります。



9.8(日) 17:00 - 21:00

会場 | NUCO [MAP⑥]

ホスト | L PACK.

ゲスト | 廣田隆詳(猫と窓ガラス)

*時間内出入り自由、1ドリンクオーダーください。

10.8(火)
(*時間など詳細については後日ウェブサイトで発表します)

会場 | ガーデンふ頭臨港緑園 [MAP⑩]

定員 | 一般の方の参加は見学のみになります

参加 | ブリッジパスが必要になります



《50人の島のおばあさんのランチ》2017

山本高之 リサーチワークショップ・ 公開ミーティング vol.06

要
ブリッジ
パス

Research Workshop and Open Meeting vol.06
by Takayuki Yamamoto

2017年よりアトラボあいちでスタートし、山本高之が調査を進めている「オリンピック」博覧会をキーワードに制作の過程を公開するリサーチワークショップ。2018年から港まちを拠点に行ってきたリサーチを振り返りながら、5月に開催したワークショップで作ったユーカリを発酵させたドリンクを味わってみます。

11.2(土) 15:00 - 17:00

会場 | 港まちポットラックビル [MAP①]

定員 | 15名(予約不要)

参加 | ブリッジパスが必要になります

協力 | アトラボあいち



「リサーチワークショップ・公開ミーティング vol.05」2019

L PACK. × フクナゴウジ New Useful Copied Objects

New Useful Copied Objects
by L PACK. and Kohji Fukunaga

「UCO」のロゴを毎年デザインしてきたデザイナー・フクナゴウジによるNUCOグッズをつくるワークショップ。シルクスクリーンで、新たにNUCOのロゴを使ったグッズを制作します。

11.9 (土)、10 (日) 13:00-18:00

会場 | NUCO [MAP⑥]

講師 | フクナゴウジ

(デザイナー/UCO・NUCOロゴデザイン)

参加費 | 1点につき500円から

(別途生地代がかかる場合があります。)



《Useful Copied Objects》2018 撮影 | 三浦知也

千葉正也

ナゾラーに至る世界転覆に 至る作戦会議もしくは合いの手、 青い薔薇の触れ合い的な 感じのイベント6

要
ブリッジ
バス

NAZOLAZ Event by Masaya Chiba

千葉正也とアーティスト・井出賢嗣によるユニット「NAZOLAZ」が、各地で不定期に開催しているイベント。ゲストアーティストが、それぞれが持ち寄った秘蔵映像を上映しトークを行います。

11.10 (日) 16:00-18:00

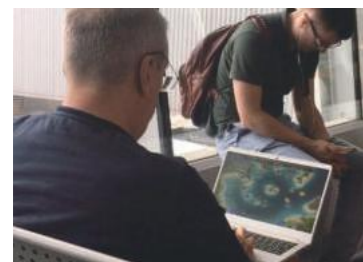
会場 | 旧・名古屋税関港寮 [MAP⑨]

定員 | 30名

ホスト | NAZOLAZ (千葉正也、井出賢嗣)

ゲスト | *詳細は決まり次第、ウェブサイトでお知らせします

参加 | ブリッジバスが必要になります



PROFILE



《Groceries Portraits#2 (231st & Broadway, Bronx, March 3rd, 2019)》2019

青崎伸孝 Nobutaka Aozaki

1977年鹿児島県生まれ、ニューヨーク在住。

さまざまな人やものが交錯するニューヨークを拠点に、日常のなかで発見したものや、まちで出会うできごとの接点から、社会の構造やコミュニケーション、都市や時間、場所性について考察する制作・パフォーマンス活動を行っている。代表作である《From Here to There》では、見ず知らずの人に道を訪ね地図を描いてもらい、それぞれの視点や時間で切り取られた断片を集積することで、新たな都市の地図をつくり出している。今回は約2ヶ月間の港まちでの滞在中に、まちを観察しコミュニティに溶け込みながら制作した新作を、名古屋港ポートビル展望室とまちなかの複合会場で発表する。

HP | www.nobutakaaozaki.com



《something red》2017 撮影 | 富田了平

碓井ゆい Yui Usui

1980年東京都生まれ、埼玉県在住。

社会で見過ごされてきたできごとや歴史を綿密なサーチによって掘り下げ、身近な素材や手法を用いて彫刻や絵画、インスタレーション作品を制作。アッセンブリッジ・ナゴヤ2016では、女性の社会的地位や賃金の発生しない労働について、刺繍やオーガジーによる愛らしい手仕事により言及した作品シリーズ「shadow work」を旧・名古屋税関港寮で発表した。2018年より「港まちの女性と労働」についてリサーチを始め、1972年に港保育園で保育者や園児の環境を守るために起こった運動「自主管理闘争」をきっかけに、「保育」に関するインタビューや資料収集を実施。当時から現在までの「保育」をテーマにした新作を発表する。

HP | yuiusui.com



《UCOのための設計-8枚切りのアーカイブ-》2018 撮影 | 富田了平

L PACK. エルパック

小田桐奨と中嶋哲矢のユニット。

「コーヒーのある風景」をテーマにアートやデザイン、建築、民藝など領域を横断し、コミュニケーションの場をさまざまな場所で創造する。名古屋ではあいちトリエンナーレ2013期間中「NAKAYOSI」名義で《VISITOR CENTER AND STAND CAFE》を運営。アッセンブリッジ・ナゴヤではイベントから、建築家や「空き家再生スクール」の参加者らとともに約20年間空き家となっていた旧・寿司店を《UCO》として再生し、人びとが集う「まちの社交場」として、継続的に開いてきた。2018年にUCOは取り壊しとなったが、これまでの活動やコミュニティを継続するべくその機能を移転し、新たな空き家を再生して《NUCO》としてスタートしている。

HP | www.lpack.jp



《アートママ・息子》2008

折元立身 Tatsumi Orimoto

1946年神奈川県生まれ、同地在住。

1969年渡米。1972年からニューヨークで、アーティストのナムジュン・パイクや前衛芸術運動・フルクサスに関わる。1977年に帰国、川崎市を拠点にパフォーマンスや写真、映像、ドローイングなど幅広い作品を世界各地で発表。顔一面にパンを付け各地の人びとと交流する路上パフォーマンス「パン人間」や、自身が介護するアルツハイマー症の母親を題材にした「アート・ママ」シリーズで注目を集める。今回は世界各地で展開してきた「おばあさんのランチ」のパフォーマンスを、さまざまな時代を乗り越えてきた港まちの女性たちとともに名古屋港で行う。またその様子を記録したドキュメント作品の発表も予定している。



《スポーティブラネット》2012

千葉正也 Masaya Chiba

1980年神奈川県生まれ、同地在住。

自身が飼っているカメとその水槽、さらにそれらを取り囲んだ状況を作り込み描く「タートルズ・ライフ」シリーズなど、自作のオブジェや日用品、既存のイメージなどを構成し、それらをモチーフとした絵画やドローイング、インスタレーションを制作。この独自の手法によってつくられるイメージは、さまざまな立ち場を横断しながら、絵画の構造に社会的な事象や日常の中のシステムを組み込み、実在と絵画の境界を絶えず揺るがしている。今回は旧・名古屋税関港寮の空間を全面的に用い、港まちに滞在して制作した新作や周辺の環境を読み取ったプロジェクトなどを組み合わせた大規模な展示を発表する。



《山月記》2016 撮影 | 富田了平

山本高之 Takayuki Yamamoto

1974年愛知県生まれ、同地在住。

小学校教諭としての経験から「教育」を制作テーマのひとつとし、子どものワークショップをベースとした映像作品の制作や、普段意識されることがない社会の制度や慣習などの特殊性や個人と社会の関係性を問う作品を制作し、国内外で発表している。また地域コミュニティと協働して実施するプロジェクトにも数多く参加している。1970年代の「名古屋オリンピック」誘致を起点にした「リサーチワークショップ」が、2017年よりアートラボあいちでスタート。その経過を港まちでのプロジェクトとして引き継ぎ、2018年より「オリンピック」や「博覧会」などの都市型イベントについて学び考える場を継続的に設けてきた。今回はコレクティブとして参加者とともに重ねて来たその活動の成果を新たな手法を用いて発表する。

HP | takayukiyamamoto.com

ART MAP アート会場マップ

*各会場詳細はP.13をご覧ください。



1 港まちポットラックビル

Minatomachi POTLUCK BUILDING
港区名港1-19-23

→1F | 青崎伸孝
Nobutaka Aozaki

2F | 折元立身
Tatsumi Orimoto

3F | 山本高之
Takayuki Yamamoto

ブリッジバス販売所

3 旧・岡田ガラス店

Former Okada Glass Shop
港区名港1-20-3

→碓井ゆい
Yui Usui

4 スーパーギャラリー

Super Gallery
港区名港1-13-10

→青崎伸孝
Nobutaka Aozaki

5 内藤ガレージ

Naito Garage
港区名港1-19-3

→青崎伸孝
Nobutaka Aozaki

6 NUCO

港区名港1-18-4

→L PACK.
エルパック
青崎伸孝
Nobutaka Aozaki

8 第3佐野コーポ1F

On the first floor of
Sano Building Part3
港区浜2-1-10

→青崎伸孝
Nobutaka Aozaki

9 旧・名古屋税関港寮

Former Minato Dormitory of
Nagoya Custom
港区浜2-4-10

→千葉正也
Masaya Chiba

14 名古屋港ポートビル展望室

On the seventh floor of NAGOYA
PORT BUILDING Observation Room
港区港町1-9ポートビル7F

→青崎伸孝
Nobutaka Aozaki

開館時間 | 9:30-17:00
(入館は閉館30分前まで)

13 10.8 (火)のみ開催

ガーデンふ頭臨港緑園

Garden Pier Park
港区港町108

→折元立身
Tatsumi Orimoto
おばあさんのランチ in 港まち
Grandmothers Lunch
in the Port Town

音楽／アート／パフォーマンス／カルチャー 港まちと多様な世界に触れる、 分野横断型プログラム

Music / Art / Performance / Culture
Interdisciplinary programs meeting the Nagoya Port area and a diversified world

2017年から始まったサウンドブリッジ部門は、多様な音楽、そしてアート、パフォーマンス、同時代のカルチャーといったさまざまな分野を横断しながら、まちに広がるプログラムです。サウンドブリッジではこれまで、港まちの環境とアーティストの表現がたがいに影響し合うことで、過去から未来への時間を含むその場にとどまらない作品が立ち上がり、その状況を参加者とともに共有してきました。アーティストがこの土地に呼応してつくりだす表現が、目の前にある景色や価値観をゆさぶり、その先の世界に触れるような体験を生み出します。そうした体験がそれぞれの日常と出会うことで新たな視点が開かれ、また、港まちの文化や歴史がより豊かで多様なものへと拡張する機会となります。

Sound Bridge is a program that started in 2017 crisscrossing the various fields of music, art, performance, and cultures from the current era, spreading across in the Nagoya Port area. In Sound Bridge, both the environment of the Nagoya Port area and the expressions by the artists have been influencing each other, resulting in works unlimited to the present and connoting infinite time from the past to the future to appear and be shared with participants. Artists' expressions made in resonance with the location will further tremble the landscape and visions in front of us, and create experiences allowing the viewers to sense a new world beyond. By blending into the daily lives, these experiences will open up new perspectives, and will create opportunities for the culture and history of the Nagoya Port area to become even more affluent and diverse.

PROGRAM 会期中プログラム

*プログラムの詳細やその他のイベントは、ウェブサイトなどでお知らせします。

イ・ランとみなとまち

Lang Lee and the Port Town

要予約

音楽、映像、コミック、エッセイと幅広い活動みせる韓国生まれのマルチアーティスト、イ・ランのライブ。ライトアップされた南極観測船ぶじを背景に海辺に位置するポートハウスで、これまでイ・ランのライブでサポートを務めてきたチェリスト、イ・ヘジとの2人編成で行います。また公演では日本語字幕のプロジェクションも行き、メロディーや言葉など彼女が発する表現を存分に味わうことのできるプログラムをお届けします。

9.13(金) 19:00-20:30

会場 | ポートハウス [MAP②]

出演 | イ・ラン、イ・ヘジ(チェロ)

サポーター席 | ¥1,000(別途、ブリッジバスが必要になります)

*全席自由。受付開始、客席開場は開演の45分前からです。
*サポーター席とは、フェスティバルの趣旨にご賛同いただいた方にご用意するお席です。取り扱いについては裏面の「チケット」をご覧ください。



撮影 | 三田村亮

夏の大△

サウンドパフォーマンス

Great △ Sound Performance

要
ブリッジ
バス
*9.29のみ

身近な素材や廃品などを用いながら、音楽と美術がシームレスにつながる作品を発表する夏の大△が、愛知県内外4名のゲストアーティストとともにライブパフォーマンスを行います。1日目には公開リハーサルとして創作のプロセスを公開。2日目には1日目に創作されたパフォーマンスを披露します。幼稚園内の特徴ある複数の空間やまちの要素などを自由に使い、新しい音や関係が生み出されていきます。

9.28(土) 14:00-17:00

公開リハーサル

9.29(日) 15:30-17:00

ライブパフォーマンス

会場 | 慶和幼稚園 [MAP②]

出演 | 夏の大△(大城真、川口貴大、矢代諭史)、古池寿浩、斉と公平太、NOBLUE、米子匡司

参加 | 9.28(土) 無料、9.29(日) 要ブリッジバス

*両日とも予約不要。
*受付開始、開場は開始30分前からです。



撮影 | 羽鳥直志

山下 残 新作公演

Zan Yamashita Premiere Performance

要予約

振付家・ダンサーとして実験的で野心的な舞台作品の発表を続ける山下残が、昨年の旧・名古屋税関港寮での『大行進』の上演や港まちでの滞在・リサーチを経て、港まちを舞台に新作を制作、上演します。今作では、まちの日常の景色が見渡せる屋上に、劇場的な空間を創造します。斬新な切り口でダンスの既存概念を覆してきた山下による、名古屋では15年ぶりとなる新作の発表です。

10.17(木) - 20(日) 各日19:00-

会場 | 港まちポットラックビル屋上 [MAP①]

演出・出演 | 山下 残

サウンド | おおしまたろう

チケット料金 | ¥1,000(別途、ブリッジバスが必要になります)

*全席自由。受付開始、客席開場は開演の30分前からです。
*雨天決行。荒天時の公演実施の有無につきましてはウェブサイトにてお知らせします。雨天時の注意事項についてもウェブサイトをご覧ください。



『大行進』2018 撮影 | 青山孝信

港まちブロックパーティー

Minatomachi Block Party

要
ブリッジ
バス

ブロックパーティーとは、ブロック(街区)の住民が集まって行う地域のお祝いや祭りを意味します。昔から港まちは世界中の人びとやものが行き交いしてきた場所です。港まちブロックパーティーでは、DJ、ラッパー、アーティストなど、さまざまな場所から多様なパフォーマーが集います。またマーケットや飲食店、港まちにかかわるクリエイターなどのブースも充実。

フェスティバルの最終週に、音楽やアート、港まちの文化が集まり、世代を超えてみんなで踊りながら楽しむ祭りを今年も開催します。

11.9(土) 12:00-19:00

会場 | 港まちポットラックビル [MAP①]、ほか

参加 | ブリッジバスが必要になります

*詳細は決まり次第、ウェブサイトでお知らせします。



昨年のブロックパーティーの様子 撮影 | 三浦知也

PROFILE



撮影 | 三田村亮

イ・ラン(이랑) Lang Lee

1986年韓国・ソウル生まれ。

音楽、映像、漫画、イラスト、エッセイなど、表現活動は多岐にわたる。セカンド・アルバム『神様ごっこ』で2016年に韓国大衆音楽賞最優秀フォーク楽曲賞を受賞。その授賞式でのスピーチの最中にトロフィーをオークションにかけ、大きな注目を浴びる。日本では2016年に柴田聡子との7都市ツアーを行い、その後共作盤『ランナウェイ』を発表。2018年の単独ツアーも全4都市5公演すべてがソールドアウト。彼女が紡ぎだす音楽をはじめとした表現、真摯で嘘のない発言やフレンドリーな姿勢・思考は、国籍や性別、さまざまな立場を超え、広く人びとの心を揺さぶり、センセーションとシンパシーを生んでいる。今回、名古屋では約3年振りの公演となる。



夏の大△ The Great △

2010年夏に開催された梅香堂(大阪)での展覧会「夏の大△(なつのだいさんかく)」を起点に活動を開始した、大城真、川口貴大、矢代諭史による3人組。不定期にライブやイベント、展覧会を行う。日常にありふれた道具や材料、音を発する物、台や脚立なども用い、空間全体を取り込んだインスタレーションとパフォーマンスを実施する。

近年の主な発表に「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム2019」(2019年、愛知)ゲストアーティスト、「Tai Kwun Contemporary's Hong Kong Art Book Fair」(2018年、香港)、Antibodies Collective『Entropical Paradise』(2018年、犬島)がある。



古池寿浩 Toshihiro Koike

1974年愛知県生まれ、同地在住。

トロンボーン、電子楽器奏者。作曲家。即興演奏によるセッション、および多彩な音色を用いたソロ演奏などを中心に、ジャンルを問わず独自のトロンボーン演奏を追求。近年はエレクトロニクスを用いた演奏も模索している。自己のトリオバンド・ふいご[中尾勤二(サクソなど)、関島岳郎(チューバ)]では作曲も担当。その他に中尾勤二トリオ、藤井郷子オーケストラ東京などのバンドでも演奏を行う。主なCDに、ふいご『ふいご』(2008年)、古池寿浩(ソロ)『井の中の蛙』(2014年)、宇波拓・江崎将史・古池寿浩・泉智也・服部玲治による『HOSE』(2007年)のシリーズがある。

HP | www.7b.biglobe.ne.jp/~fuigoikoike/



斉と公平太 Kouheita Saitou

1972年愛知県生まれ、同地在住。

美術作家。絵画やインスタレーションによる作品発表のほか、デザインや執筆活動も行う。2007年より「世紀マ3」名義でライブ活動開始。さまざまな編成を経て2014年より和太鼓、三味線、サーキットバンドによる即興演奏を主体としたバンドになる。名古屋市内のライブハウスなどを中心に活動する。「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム2018」(2018年、愛知)出演。個人では三味線、和太鼓、尺八などの和楽器を用いた即興演奏も展開。中日新聞プラスでコラム『芸術は漠然だ!〜斉と公平太のムダに考えすぎ〜』連載中。



NOBLUE ノブルー

1984年静岡県生まれ、同地在住。

津ヶ谷小百合のソロプロジェクトとして2004年頃より沖縄で活動を開始。声、おもちゃ、ピアノ、ホルン、物音などを使って演奏を行う。各地でさまざまな演奏家やVJをゲストに招きコラボレーションを重ねる。ギター(53235)とボーカル(NOBLUE)のユニット「K'DLOKK」としても活動中。NOBLUEとしてCD『gmuisstud-sketch-』(2008年)、『爾今』(2012年)を自主制作。2013年からは浜松市にて、飲食と音楽を中心としたイベントの企画などを行う「parlor COTEF」の運営も行う。

HP | gmuisstud.net



米子匡司 Tadashi Yonago

1980年大阪府生まれ、同地在住。

音楽家。トロンボーン、ピアノ奏者。プログラマー。自作楽器やその他の道具を用い、出来事、音、音楽にまつわる試みを行う。近年の活動は、既存の楽器と自作楽器を使ったライブと展示のほか、町の地図を元にフィールドレコーディングと演奏を組み合わせた《地図》シリーズの制作などがある。1999年より2019年まで「SjQ」および「SjQ++」メンバーとしても活動。音を扱う活動以外に、自身や友人が作ったCD、服、本などの物品を街中で販売するための自動販売機の制作と設置も行うほか、シェアハウス、ショップ、イベントスペースなどの複合建物「PORT」の運営を行う。

Twitter | https://twitter.com/yonagotadashi



撮影 | 青山孝信

山下 残 Zan Yamashita

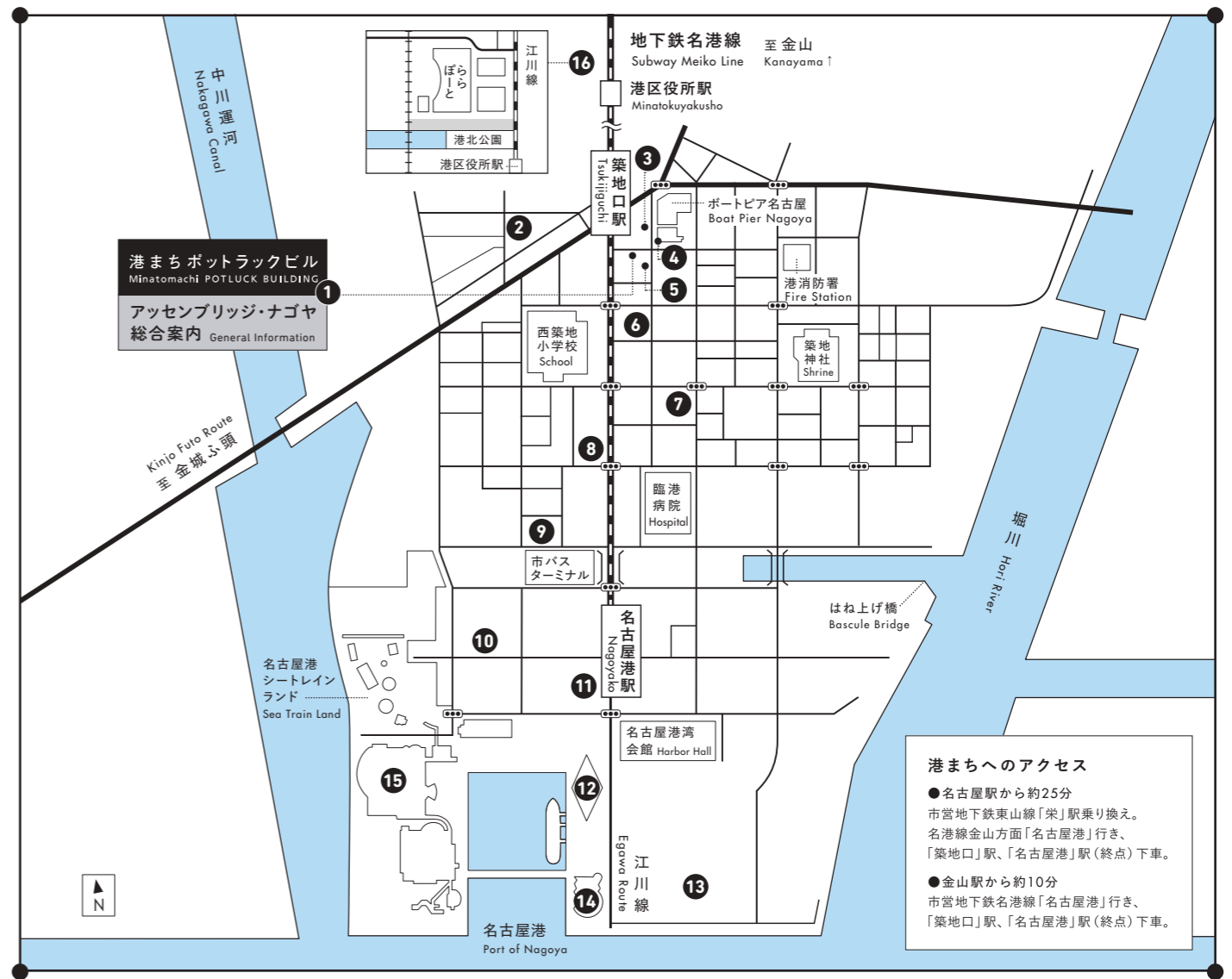
1970年大阪府生まれ。

代表作に、100ページの本を配り観客がページをめくりながら本と舞台を交互に見る『そこに書いてある』、スクリーンに映写される呼吸の記号と俳句のテキストを身体とあわせて見る『せきをしてもひとり』、線路の上を歩きながら世界の事象をつぶやく『大行進』。近年は国内外での局地的なりサーチワークも多数手掛け、バリ島に滞在して創作した『悪霊への道』、京都の老舗劇場閉館に捧げる『無門館の水は二度流せ 詰まらぬ』、マレーシアの政權交代を、立候補した友人と共にドキュメント&再現した『GE14』などがある。昨年のアッセンブリッジ・ナゴヤでは旧・名古屋税関港寮にて『大行進』を上演。外部の景観や光、音などの環境も即興的に取り入れながら日々更新される作品に仕上げた。

Table with columns: 開催日 (Date), 開催時間 (Time), M | MUSIC A | ART S | SOUND BRIDGE (Category), *は入場無料 (Free admission), 会場 (Venue), ページ (Page). Contains event details for dates from 9.7 to 11.10.

ART 現代美術展『パノラマ庭園』移ろう地図、侵食する風景 ↓ P.06-09

※ART現代美術展は休場



港まちへのアクセス
●名古屋駅から約25分
市営地下鉄東山線「栄」駅乗り換え。
名港線金山方面「名古屋港」行き、
「築地口」駅、「名古屋港」駅(終点)下車。
●金山駅から約10分
市営地下鉄名港線「名古屋港」行き、
「築地口」駅、「名古屋港」駅(終点)下車。

- 1 アssenブリッジ・ナゴヤ総合案内
7 信興寺
8 第3佐野コーポ1F
9 旧・名古屋税関港寮
10 うどんDINING釜半
11 珈琲物語
12 ポートハウス
13 ガーデンふ頭臨港緑園
14 名古屋港ポートビル
14 名古屋港ポートビル展望室
14 東山ガーデンポートビル店
15 名古屋港水族館
16 みなとアクルス

*M MUSIC A ART S SOUND BRIDGE
*アートのみの会場MAPはP.09をご覧ください。